

科目区分	教養教育科目（教養）	対象学年（以上）	1
科目名称	県大エッセンシャル	単位数	2
講義題目	大学でいかに学び、予測困難な未来をどう生きていくか	曜日・時限	月曜4限
担当教員	上川 通夫、高島 忠義	開講時期	2018年度 前期
到達目標	これからの世界を生きていく上で、どのような教養が求められているか、どのように自分を成長させていくか、そして県大に在学中にどのように学びを深めていくかを、様々な視点から考え、行動に移すことができる。		
授業概要	学生のみなさんが生きていくのは、グローバル化社会・高度情報社会であり、政治・経済・文化など生活のさまざまな面で国際社会の影響を瞬時に受ける予測困難な時代です。過去の知的伝統から学びつつも、一分野の専門知識だけに依らない、より柔軟な思考・問題発見/解決の積極性・他者との協働が必要とされる時代です。この講義では、本学の教養教育、専門教育、共生社会形成に向けて皆さんが知っておくべきこと、グローバル関連事業などについて説明し、同時に各教員が「私が学問に目ざめた時」「私にとって学び/大学とは」「私の研究/教育」などのテーマでお話しします。各教員がどのような知的探究を行っているのかを知り、同時に学生のみなさん一人一人が「大学でいかに学ぶか」を考えるための講義です。		
授業計画	第1回 私たちは何をどう学ぶか－教養教育－ 第2回 教養英語とグローバル化への対応－教養教育－ 第3回 みんなで知ろう県大教養教育科目－教養教育－ 第4回 専門と教養，全学的な視点から－専門教育－ 第5回 共生社会の形成に向けて－障害を知る－ 第6回 世界におけるグローバル化とその行方－反グローバリズムの潮流－ 第7回 グローバル社会で求められる能力－グローバル実践教育－ 第8回 県大から見ずえる世界の今と将来－グローバル学術交流－ 第9回 ネット社会における倫理－情報セキュリティ－ 第10回 生き延びるための自覚－大規模災害で大学が被災すること－ 第11回 外国語を通して広がる世界－複数の言葉がわかることの意味－ 第12回 知っておきたい私のこころとからだ－教養としての医療・看護－ 第13回 すべての歴史は現代史である－生き方の学びとしての人文科学－ 第14回 真理探究と人類の幸福－これからの教養教育－ 第15回 アマゾン川の畔で『源氏物語』を語る－これからの大学教育－		
授業時間外の学習（予習・復習）	各回講師の配布や紹介資料を元に、講義内容に関する理解を深め、自らの考えをまとめること。また次回講義内容に関連する内容について下調べをし、質問を用意すること。		
履修上の注意	・第1回の授業には、「学生便覧」、「時間割表」を持参すること。 ・次のことを少なくとも一つは考えている学生の参加を期待します。 ・「これから大学ではどんなふうに勉強していけば良いのだろうか」 ・「教養って何だろう」 ・「愛知県立大学で有意義な学生生活を送りたい」		
成績評価の方法	各回ごとに提出するエッセイ40%、期末エッセイ30%、質問及びベストエッセイに選ばれた回数30%により評価する。		
教科書	特に指定しない。		
参考書、教材等	必要に応じて配布、紹介する。		